

#889 仕上げは自社機のPC200iに託し迅速で正確な施工



■■ 現場詳細 ■■ 静岡県清水区興津東町

興津川国土強靱化対策工事

【施工範囲】 20,000m² 【施工土量】 切土11,000m³

【ソリューション】 ペイロードメーター/スマートコンストラクションアプリ/Smart Construction Retrofit

【稼働建機】 P C 200i/PC200レトロフィットキット装着機

ＩＣＴのメリットを熟知し更に前進



■■ 導入経緯 ■■

(株)エイ・コーポレーション 工事主任 青木太さん

ＩＣＴ施工は数現場経験しています。

この現場では自社機のPC200iを活用したいと思い、ＩＣＴ活用工事を受注しました。ＩＣＴ施工は何より丁張りレスで手戻りがないこと、土量計算など日々の管理も非常にラクなことがメリットなので、効率よくスピーディーに進めるにはＩＣＴは必要不可欠だと実感しています。河床掘削は3現場目となりますが、自社機に加え、PC200のレトロフィット装着機とペイロードメーターを使用し、ダンプトラックの重量管理も行いたいと思い導入しました。少しずつソリューション活用も視野に入れながら更に経験を積み、将来的には自社でドローンを飛ばしたりデータ作成したり、内製化を目指して進んでいけたらと考えております。

ＩＣＴ建機を駆使し効率的な施工



■■ 導入効果 ■■

(株)エイ・コーポレーション 監督技術者 佐々木浩次さん

まずは全体をPC200のレトロフィット装着機で荒切りし、仕上げはPC200iに任せ成形しました。先に荒切りすることで、仕上げ作業は地面をなぞるイメージで完成していくので、効率的に施工が進みました。

また、過積載は1日に1回は計測しなければならず、従来はダンプトラックを止めて測りで計測していたので、時間や労力を費やしていました。レトロフィット装着機でペイロードメーターを活用することで、重量確認しながら積み込むことができ、アプリに上がってくるデータ一覧で、最大積載量に対して何%積込みしたのか確認ができるので、役所への提出書類も作成の手間が省け、とても便利な機能だと感じました。搬出した土砂は更に別の現場で受け入れをし、ＩＣＴブルドーザーで敷き均しを行いました。無駄なく施工ができ、ソリューションも組み合わせて活用することで、管理面が削減されるので、ＩＣＴ施工は欠かせないと感じております。

(株)エイ・コーポレーション 様

1992年 設立 ＩＣＴ建機を駆使することで、3次元データで現場情報を一元化することが可能であり、測量時に取得した設計データを元に正確な施工が可能となります。

「丁寧且つきめ細かい工事を行います。」

<https://www.big-advance.site/s/124/1817>



工事主任 青木太 さん



監督技術者 佐々木浩次 さん